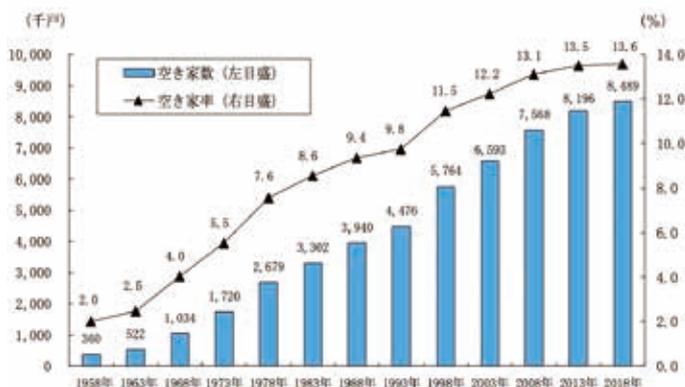




ちょっと役立つ空き家の
豆知識をお伝えします

空き家の問題点と対策の取り組み

平成30年の総務省の住宅・土地統計調査によれば、全国の空き家の総数は、この20年で**1.5倍** (576万戸→846万戸) と大きく増加、和歌山県でも平成24年度の空き家調査では257戸、直近の調査でもその増加が見込まれています。



(出典：総務省「平成30年住宅・土地統計調査 住宅及び世帯に関する基本集計」)

では空き家が増えることの何が問題なのでしょうか。

一番は周辺地域の**防災・防犯**の観点です。

空き家は地震や豪雨の際に倒壊するケースも多く、新たな被害の発生源になったり、救急活動の妨げになったりすることが考えられます。

また、空き家を利用した犯罪として、放火や薬物の栽培が挙げられます。特に放火はその空き家だけでなく、火事の規模によっては周囲にまで火の手が迫ることとなり、甚大な被害となってしまいます。

こうした空き家への対策として、県や市町村では**勉強会や相談会**を定期的に行っています。和歌山県でも直近で個別相談会を予定しています。空き家に関して気になることがある人はぜひこの機会をご活用ください。新たな視点や思わぬ気づきを得られるのではないのでしょうか。

加えて和歌山県では、**空き家バンク活用促進事業**として、不要物の撤去や改修に対する**補助金**を用意しています。「お金がかかるから…」と諦めて

しまわずに、まずはご相談ください。

また、自身の所有ではないけれど近所に空き家があるという人も、持ち主の人とお話する機会があれば、町への相談や空き家バンクへの登録を勧めてみてはいかがでしょうか。

空き家の利活用、空き家バンクの活用を通じて、若い子育て世代が移り住んだり、改修してゲストハウスや店舗を開業したりと**地域に新たな活力**を与えた事例は全国に数多くあります。今後そのような事例も紙面で紹介していければと思っています。

専門知識を持った地域おこし協力隊 による空き家等個別相談会

2022年 **1月20日** 日

午前：南関町役場新庁舎 (南関町関町64)

午後：長洲町中央公民館 (長洲町大字2772-2)

相談は無料、詳細・ご予約は
荒尾・玉名地域空き家等個別相談会事務局
(092-711-5025) まで

協力隊活動記 Vol.48

こんにちは、地域おこし協力隊の山谷 (やまや) です。

最近ではコーヒー屋『ひかるコーヒー』としてお声がけいただく機会も増え、9月には社会福祉協議会でコーヒーの淹れ方講座を、10月には道の駅きくすい、11月には緑彩館で出張販売をさせていただきました。大勢の人に自身で焙煎して淹れたコーヒーを飲んでいただいたり、コーヒーの楽しさをお伝えできたりして、とても楽しかったです。

また、和歌山県にちなんで7:5:3でブレンドした、深煎り「みどりのブレンド」と中煎り「みずいろのブレンド」の販売を開始し、ふるさと納税の返礼品としても出品しています。

今後も協力隊活動の空き時間を利用し和歌山県のコーヒー屋としても活動していきますので、見かけた際はお気軽にお声がけください！